



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年1月31日

上場会社名 コネクシオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9422 URL <http://www.conexio.co.jp/index.html>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 井上 裕雄
 問合せ先責任者（役職名） 経営企画部長（氏名） 神野 憲昭 (TEL) 03-5739-3702
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	211,314	53.4	4,498	17.5	4,583	17.2	2,446	24.6
25年3月期第3四半期	137,776	49.9	3,829	23.3	3,909	24.0	1,963	47.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第3四半期	48.90		—					
25年3月期第3四半期	40.51		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	91,635	20,171	22.0
25年3月期	87,297	28,262	32.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 20,171百万円 25年3月期 28,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	13.25	—	13.25	26.50
26年3月期	—	15.75	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.75	31.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	295,000	40.9	6,200	5.0	6,300	4.4	3,300	6.7	67.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日（平成26年1月31日）に公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	55,923,000株	25年3月期	55,923,000株
26年3月期3Q	11,184,854株	25年3月期	254株
26年3月期3Q	50,025,412株	25年3月期3Q	48,479,903株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策や金融緩和を背景に、企業収益や高額消費を中心とした個人消費に改善がみられます。しかしながら、個人所得の伸びには至っておらず、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社が事業活動を展開する携帯電話市場におきましては、フィーチャーフォンからスマートフォンへの買替需要が引き続き好調に推移するとともに、通信キャリア大手各社から人気機種が同時に発売されたこともあり、お客様獲得競争は激しさを増しております。

このような事業環境の中、当社は前年度の合併の仕上げとして、企業理念・社名・ロゴマークを10月より変更し新たなスタートを切りました。夏場と12月の商戦期に販売を十分に伸ばすことができませんでしたが、合併による規模拡大等により販売台数は220万台（前年同期比29.9%増）となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高2,113億14百万円（前年同期比53.4%増）、営業利益44億98百万円（同17.5%増）、経常利益45億83百万円（同17.2%増）、四半期純利益24億46百万円（同24.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(コンシューマ事業)

合併に伴うキャリア認定ショップ網の拡充と人気機種の販売により販売台数増を確保しました。また、スマートフォンの画面やアクセサリを自分好みに着せ替えできるポータルサイト「nexi（ネクシイ）」を12月後半から立ち上げるなど、付属品を中心とした携帯関連商品の収益獲得にも努めました。

この結果、売上高は1,995億49百万円（前年同期比58.3%増）、営業利益は56億57百万円（同17.6%増）となりました。

(法人事業)

合併に伴う顧客基盤の拡大を活かしたクロスセル及び提案営業を強化した結果、企業の業務効率を支援するマネージドサービスやスマートフォンの利用に伴いニーズが高まっているMDMサービスの獲得を増やすことができました。また、営業支援システム等のクラウドサービスについても導入が始まっております。プリペイドカード（POSAカード）の販売は、新たな販路の開拓、新商材の導入、売場面積の拡大が進むなど、順調に推移しました。

この結果、売上高は117億65百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は15億30百万円（同33.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は前事業年度末に比べて50億10百万円増加し、681億50百万円となりました。これは、現金及び預金の増加18億55百万円、商品及び製品の増加48億70百万円、売掛金の減少7億28百万円、未収入金の減少6億6百万円等によります。

固定資産は前事業年度末に比べて6億71百万円減少し、234億85百万円となりました。これは、有形固定資産の減少88百万円、のれんの償却2億75百万円、キャリアショップ運営権の償却5億15百万円、投資その他の資産の増加2億74百万円等によります。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて43億38百万円増加し、916億35百万円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末に比べて83億17百万円増加し、622億67百万円となりました。これは、買掛金の増加39億38百万円、短期借入金の増加59億円、未払法人税等の増加10億42百万円、未払代理店手数料の減少6億86百万円、賞与引当金の減少15億45百万円等によります。

固定負債は前事業年度末に比べて41億11百万円増加し、91億96百万円となりました。これは、長期借入金の増加30億円、退職給付引当金の増加4億32百万円等によります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて124億29百万円増加し、714億64百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前事業年度末に比べて80億90百万円減少し、201億71百万円となりました。これは、自己株式の取得による減少91億93百万円、配当金の支払14億45百万円、四半期純利益の計上24億46百万円等によります。

この結果、自己資本比率は22.0%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日(平成26年1月31日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、通期の業績予想につきましては、直近の経営環境を踏まえ、売上高2,950億円、営業利益62億円、経常利益63億円、当期純利益33億円に修正させていただきます。

なお、平成25年4月30日に公表いたしました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

平成26年3月期 通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	300,000	7,800	7,800	4,350	77.79
今回修正予想(B)	295,000	6,200	6,300	3,300	67.73
増減額(B-A)	△5,000	△1,600	△1,500	△1,050	
増減率(%)	△1.7	△20.5	△19.2	△24.1	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	209,303	5,903	6,034	3,092	61.46

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

当社は、当第3四半期会計期間において、事業所の一部を移転することを決定したため、移転に伴い利用不能となる資産について耐用年数を短縮し、変更いたしました。

また、移転前の事業所の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として償却を行っていた敷金についても、償却に係る合理的な期間を短縮し、変更いたしました。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の減価償却費が79百万円増加し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ79百万円減少しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,566	3,421
売掛金	37,122	36,393
商品及び製品	9,284	14,154
未収入金	11,366	10,760
預け金	293	250
その他	3,530	3,186
貸倒引当金	△23	△17
流動資産合計	63,140	68,150
固定資産		
有形固定資産	3,728	3,640
無形固定資産		
のれん	2,321	2,045
キャリアショップ運営権	13,409	12,893
その他	597	531
無形固定資産合計	16,327	15,470
投資その他の資産	4,099	4,374
固定資産合計	24,156	23,485
資産合計	87,297	91,635
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,623	22,562
未払代理店手数料	6,197	5,511
短期借入金	9,900	15,800
未払金	11,706	11,780
未払法人税等	22	1,064
賞与引当金	2,585	1,040
役員賞与引当金	24	2
その他	4,889	4,506
流動負債合計	53,949	62,267
固定負債		
長期借入金	—	3,000
退職給付引当金	3,755	4,187
役員退職慰労引当金	8	—
資産除去債務	376	387
その他	944	1,621
固定負債合計	5,085	9,196
負債合計	59,034	71,464

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,778	2,778
資本剰余金	9,779	9,779
利益剰余金	15,467	16,468
自己株式	△0	△9,193
株主資本合計	28,025	19,832
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	236	339
評価・換算差額等合計	236	339
純資産合計	28,262	20,171
負債純資産合計	87,297	91,635

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	137,776	211,314
売上原価	112,637	178,585
売上総利益	25,138	32,728
販売費及び一般管理費	21,309	28,230
営業利益	3,829	4,498
営業外収益		
受取利息	4	0
受取配当金	11	8
販売コンテスト関連収入	16	15
店舗移転等支援金収入	41	34
その他	19	85
営業外収益合計	92	143
営業外費用		
支払利息	3	34
固定資産除売却損	7	11
自己株式取得費用	—	5
その他	0	7
営業外費用合計	12	59
経常利益	3,909	4,583
特別利益		
固定資産売却益	—	0
その他	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
事務所移転費用	—	101
店舗閉鎖損失	49	49
固定資産除売却損	25	18
ゴルフ会員権評価損	20	—
関係会社株式評価損	25	7
減損損失	42	22
その他	1	2
特別損失合計	164	202
税引前四半期純利益	3,744	4,381
法人税、住民税及び事業税	680	1,312
法人税等調整額	1,100	622
法人税等合計	1,781	1,935
四半期純利益	1,963	2,446

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社は、平成25年8月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式は9,193百万円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式は9,193百万円となっております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、携帯電話等の通信サービスの契約取次、契約者へのアフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売を行う、携帯電話の一次代理店を基幹事業としています。

したがって、商品販売及びサービス提供を行う顧客の属性から、「コンシューマ事業」、「法人事業」を報告セグメントとしております。

「コンシューマ事業」は、コンシューマ顧客に対する携帯電話等の通信サービスの契約取次、アフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売を行っております。

「法人事業」は、法人顧客に対する携帯電話等の通信サービスの契約取次、アフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売を中心としつつ、携帯電話を利用したマーケティング・ソリューションの提供、コンビニエンスストアに対するプリペイドサービスの提供、インターネット接続サービスの提供及びM2Mソリューションの提供を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	コンシューマ事業	法人事業	計		
売上高	199,549	11,765	211,314	—	211,314
セグメント利益	5,657	1,530	7,187	△2,689	4,498

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,689百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

販売の状況

(単位：百万円、%)

		前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	増減率
コンシューマ事業	売上高	126,018	199,549	58.3
	営業利益	4,811	5,657	17.6
法人事業	売上高	11,757	11,765	0.1
	営業利益	1,144	1,530	33.8
調整額	全社費用	2,126	2,689	26.5
四半期損益計算書 計上額	売上高	137,776	211,314	53.4
	営業利益	3,829	4,498	17.5